

## 複合書店の成立過程に関する基礎的研究

### Basic study on the formation process of composite bookstores

○石黒未夏<sup>1</sup>, 阿部貴弘<sup>2</sup>

\*Minatsu Ishiguro<sup>1</sup>, Takahiro Abe<sup>2</sup>

Abstract: Currently, in the trend of the times "bookstores" are disappearing from the town. On the other hand, more than 70% of bookstores are trying to create new attractions as "composite bookstores". On the other hand, more than 70% of bookstores are "compound book stores" handling books and magazines. There is a possibility that these may give the region new attractiveness different from conventional bookstores. In this research, we aim to clarify the process of opening these stores.

#### 1. はじめに

現在, 時代の流れの中で「書店」がまちの中から姿を消しつつある。書店はここ 20 年で約 9,700 軒がなくなり, 約 6 割程度まで減少した。書店数減少の原因としては, 読書離れ, 電子書籍やネット流通の急成長, 経営者の高齢化や資金繰りの悪化等が挙げられる<sup>[1]</sup>。

書店数が減少する中, 全体の約 7 割を超える書店が「兼業」店として書籍・雑誌以外の商品を扱っている。書店は「兼業」することによって経営の継続を図る傾向にある。また, 他に書店自身が生き残り策として掲げることは「地域密着化」が最も多く, 地域との連携が重要視されている状況にある<sup>[2]</sup>。

兼業することで従来の書店とは異なる機能や魅力を有した複合書店と, その取り組みは, 商店街をはじめとした周辺地域に対して新たな魅力を付加する可能性にある。

ところが, 複合書店をめぐる現状, 従来の書店の在り方とは異なった取り組み, 業種展開の過程やそれにより地域に与える効果などの基礎的情報については十分な研究成果が得られているとは言い難い。また, 地域と書店との関連を明らかにするためには, 「地域密着化」を狙った取り組みの内容を掘り下げることが必要である。

そこで本研究では, 業種展開を経て新たな魅力を打ち出す「複合書店」に着目し, 商店街をはじめとした周辺地域に及ぼす効果の調査・分析に向けた基礎的知見を得るため, 複合書店の出店の仕組みを明らかにすることを目的とする。

#### 2. 研究対象

本研究では, 東京都内における複合書店を対象とする。特に, 日本を代表する「本」の街である神保町と比較的複合書店が多く立地する他 3 地域を選定し, 調

査を実施する。複合書店については書籍, 雑誌, 古本の販売を行う事業所である「書店」部と, 飲食物販売, 物品販売, フリースペースを含む複合要素である「複合」部を含んでいるものを対象とし, 「書店」部と「複合」部の定義づけを **Table 1** に示す。

**Table 1. Definition of "book store" department and "complex" department**

「書店」部	「複合」部
書籍, 雑誌, 楽譜, 地図, 辞典, 辞書, 参考書, クレジット, 漫画本, 古書籍, 古雑誌など (貸本, 教育用教材テープ, 新聞などは除く)	飲食販売 飲食物の販売, 飲食スペース (物販スペースは除く)
	「複合」部と「新・文庫系手帳類」に含まないもの (書籍の専門性やイベント内容と関連した紙製品及び文庫系等は「複合」部の物品販売とみなす)
	ギフトスペース キャラクター, イベント開催, 貸出のためのスペース

また, 本研究で対象とする書店は, より地域に密着した取り組みを見るために大型店やチェーン店を除き, 売場面積 300 坪以下の中小書店のみを対象とする。

#### 3. 研究方法

##### (1) 対象地域の「複合書店」の把握と基礎調査

現地調査及びヒアリング調査に基づき, 各地域の複合書店の基礎情報に加えて以下の 3 点をまとめ, それぞれ分類することで現状を把握する。

- i. 複合要素: 「複合」部の定義に基づき, 複合書店がもつ 3 つの要素を抽出する。さらに 1 つの書店が持つ要素の個数についても分類する。
- ii. 「複合」化に至るまでの変遷: 複合化の際に移転, 改築, 改装, 売り場内での変化があったかと, 複合化に至る意図・目的に着目する。
- iii. 店舗内の構成: 「書店」部と「複合」部の位置関係

##### (2) 出店の仕組みに関する分析

(1) の分析を踏まえて, 複合書店の出店の仕組みを各「複合」部ごとに分析する。

#### 4. 調査結果

対象地域の複合書店について, 神保町地域で 13 店舗, 他地域として神楽坂地域で 4 店舗, 荻窪地域で 2 店舗,

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

